

作業所学会分科会 記録者用 事例・活動報告書

記録者名： 深見智史
 （事業所） ラポールあおい
 役 職： 管理者

発表者名： 鈴木のどか（テラス・からふる）
 （事業所） 伊藤育生（ラポール・ファーム）
 浅井宏明（ラポールみなみ）

【発表事業所の概要】

	〈テラス・からふる〉	〈ラポール・ファーム〉	〈ラポールみなみ〉
事業区分	生活介護	就労継続支援 B 型	就労継続支援 B 型
定 員	20 名	20 名	20 名
活動内容	デコパージュバッグ、フリーマ ット、ねじの袋詰め、ペットフ ードの袋詰め、ノックピン袋入 れ等	クッキー、パウンドケーキ、ハー ブ製品、ビーズ製品、手芸品、季 節商品、ペットフード袋入れ、 DM 封入、安全ピン、押印等	アート活動、スクリーン印刷、転 写印刷、その他手作り品製作、ペ ットフード袋入、チラシ折り等

【支援・活動事例の概要】

目標・目的	テーマ：意思決定支援「私が望む生活とは」 キーワード：どんな時自分は幸せか、仕事のこと、余暇のこと、グループホームでの暮らし、楽しみやお金の使い方
計画・手段	・当事者 3 名からの発表 ・発表を受けて、杉山元太氏からの質問やコメント ・会場参加者からの質疑応答、意見交換
内容・経過	当事者 3 名からの発表 ・発表を受けて、杉山元太氏からの質問やコメント ① ・会場参加者からの質疑応答、意見交換鈴木氏からの発表 テラス・からふるでペットフードの袋詰めや、ノックピンの袋詰めなどを頑張っている。体調で生活リズムがなかなか整わず、夜しっかり眠れて体調の良い時に出勤している。家族のために家の手伝いを頑張っている。出勤できる時には午後になってしまうけど父親が送迎してくれる。行くと気分によっては暴言を吐いてしまうことがある。イベントで自分の作ったお菓子を食べてもらうことが楽しみ。また切り絵などの趣味がたくさんある。今の暮らしには満足しているが、出来たり出来なかったりする状況があるから、約束はしっかり守りやることはしっかりできる人物を目指していきたい。 ② 伊藤氏からの発表 ラポール・ファームで主に焼き菓子作りに参加している。その他の仕事も必要に応じて取り組んでいる。焼き菓子作りはお客様の口に入るものなので毎日緊張しながら取り組んでいる。お客様に「おいしいからまた買いに来ちゃった」と言われることがとてもうれしい。色々なことにチャレンジしていきたい。月曜日から土曜日の朝までグループホームで過ごしている。誕生日会やハロウィンなどイベントも提供してくれるので楽しい。休日はあおい講座やエンジョイボーリングなど色々な活動を楽しんでいる。工賃は好きなタレントのカレンダーを買ったり仲間と買物を楽しんだりして、残りは貯金している。 ③ 浅井氏からの発表

	みなみでは色々な仕事をしているが配線のキャップ付けなどの仕事がとてもやりがいを感じている。またアート活動では飲食店の風景を思い浮かべてスケッチブックに描いている。休日は模型のお店めぐりやイベントに出かけたり、グループホームでゆっくりしている。お金は社協の方に管理してもらって毎週生活費をもらってやり繰りしている。その他生活に必要なものは世話人の方と一緒に買いに行くこともある。鉄道が趣味で鉄道模型を集めたり、旅行で埼玉の鉄道博物館に行くことがとても楽しみ。工賃はルルカのチャージや旅行のお金にあてている。工賃はもっともらえると良いと思っている。
結果・課題	〈結果〉 3名とも好きな推し活（趣味）を色々と持たれており、とても生き生きと発表されていて、作業所の仕事や生活だけでなく、人生を豊かにしていくために余暇の充実がとても重要であると感じられた。 〈課題〉 趣味にお金を使いたいという声から工賃をもっとほしいという声が上がったり、また日々の業務の忙しさから、本人の望む生活について深く対話する時間が不足していることなども課題として感じられた。

【意見交換】

（コメンテーターまたは会場からの質問より）

○半日で帰れる日は寂しいですか？うれしいですか？

・うれしい。グループホームに帰って洗濯物を入れたり、音楽を聴いている。（伊藤氏）

○工賃はあといくらぐらい欲しいですか？

・2～4万円もらえるとうれしい（浅井氏）

○趣味でお金を使うことはありますか？

・初詣の時に使ったり、昔はアニソンやJポップのCDをよく集めていた。高校生の頃から趣味の範囲を広げていかなければいけないことを心がけている。（鈴木氏）

・たまに図書館でCDを借りたり、先日誕生日の時に西部警察のDVDを買ってもらった。また鉄道模型も2つ持っていて静岡鉄道のカレンダーも持っている。工賃を貯めて新しい電車にも乗ってみたい。（伊藤氏）

○ご自身の生活の中で周りの人にこうしてもらえると助かると思う事はあるか

・やってほしいことはあまりないが、私にあまり期待しないでほしい。緊張してしまう。（鈴木氏）

・GHに帰ったら手洗い、うがい、風呂洗いや洗濯など頑張っていて色々忙しい。やってほしいことは特にこれといったはない。（浅井氏）

○幸せだなと思う瞬間ってどういう時か。

・仕事をいちばんやり切った時。また切り絵でこれくらいにしようかなと作れた時や上手く作れた時。あとクリスマス会やバレンタインデーに自分の作ったお菓子でお茶会する時がいちばん幸せ（鈴木氏）

・ファームで新年会や忘年会や食事会をやったり、新年会の時にカラオケやビンゴゲームをしたりお弁当を食べたり買物などして帰った。みんなでいる時が楽しいと思う。わ・ハハで販売に行った時に、作った商品を買ってもらったり、お客さんにほめてもらったりまた来てもらえることがうれしい。（伊藤氏）

・以前わ・ハハで販売に出ていたけど今は行かなくなってさみしい。自分達が描いたタオルやバッグが売れるとうれしい。（浅井氏）

○お仕事が嫌だなという時はどうしているか。

・特にこれといったないが、月に1度の通院した日はゆっくりしたい。普段仕事で疲れると休憩時間にボタンキューすることもある。（浅井氏）

・無理に仕事する時もあるし、休憩取る時もある。最後までやるのが仕事なので仕事はあきらめてはダメ。あきらめるとお給料がもらえなくなるかもと不安になる時があったが、失敗しても良いから大丈夫だよと職員さんもついているからと言ってもらえている。(伊藤氏)

・一度キレると止まらないので、その時は母親に止められて事業所を休んでコメダ珈琲やブックオフなど気分転換に連れて行かれる。対人関係でけんかにならないように、相手にあたらないように気をつけている。仕事はあきらめてはいけないと思っている。(鈴木氏)

(その他参加者より)

○皆さんのお話を聞いていちばん驚いたのは趣味がとても豊富なこと。そしてその趣味を楽しむために家の手伝いや事業所の作業に頑張って取り組んでいるのがとても素晴らしいと感じた。

○皆さん趣味がとても充実して毎日楽しい日々を過ごしていることが伝わった。今の事業所に長く勤められている方も多く、今の事業所が楽しいんだなということも感じられた。

○皆さんが仕事に誇りをもって楽しんでいると同時に職場の仲間のことを大切にされていることを感じられた。事業所の雰囲気良くしていく事が居心地の良さにつながっていくので大切にしていきたい。

○皆さん趣味をととても楽しみにされていて、共通して自分の好きなものに対する話題になると、明るく楽しく会話できるし、やる気やモチベーションにつながるので事業所でもその気持ちを大切にしていきたい。

【まとめ】

(テーマに対する分科会としての結論や方向性)

3名とも好きな推し活(趣味)を色々と持たれており、とても生き生きと発表されていて、作業所の仕事や生活だけでなく、人生を豊かにしていくために余暇の充実がとても重要であると感じられた。その一方で趣味にお金を使いたいという声から工賃をもっとほしいという声が上がったり、また日々の業務の忙しさから、本人の望む生活について深く対話する時間が不足していることなども課題として感じられた。

障害の有無にかかわらず「聞いてくれる場所や仲間がいること」が意思決定の基盤であり、事業所の垣根を越えた連携を通じて、本人の意思を社会資源や政策提言につなげていくことが必要である。